

一週間に一度、自分が履修している科目の単位を取得した先輩に教えてもらいながら前の授業を復習するPASS(Peer Assisted Study Session)を履修することで、授業への理解度を深めることが出来ます。なお、ウーロンゴンの生徒はMicrosoft Officeのすべてのシリーズを無料でダウンロードすることが出来ます。加えてAdobe シリーズも期間限定ではあるものの無料で使用することが出来ます。

精神面でのサポート

学内にカウンセラーがいるため、辛い時はカウンセラーに相談することが出来ます。なお、大学側からもカウンセラーの存在を教えてくれるメールなどもよく届きます。

生活・住居面でのサポート

大学の付属の寮が5種類もあるため、好きな場所を選択して住むことが出来ます。なお、各寮では学生リーダーと言われる生徒たちが存在していて、毎晩のパトロールや勉強面でのサポートをしてくれます。各寮では普段ほぼ毎週何かしらのイベントも行われているため、友達を作るきっかけも作ってくれる寮です。

2. 生活環境等について

(1) 住居についてアドバイスを含め自由に記入してください。

現地の学生からの評価も加えて私は間違いなく5種類の寮の内、Campus Eastをお勧めします。主な理由は

- ・美しい海から徒歩5分と好立地。
- ・一番楽しい寮で有名。
- ・家賃が他の寮と比べて一番安い。
- ・毎週イベントが行われている。
- ・映画が見れるプロジェクタールームやゲームルーム、サッカー場やカフェテリアなどの施設が充実し

(2) パソコンについて

PCの保有状況：☒日本から持参した ☐現地で購入した ☐保有しなかった

Wi-Fiの有無：☒有 ☐無

住居内でインターネットに接続していた場合、プロバイダー、料金等について記入してください。

住居内のWi-Fiを無料で使用することが可能。

大学でのPCの使用可否：☒使用できた ☐使用できなかった

大学でPCを使用していた場合、施設の場所や時間制限等について記入してください。

私は使用していませんが、大学の図書館内にパソコンが何台か設置され、それらを使用することが出来ます。

(3) 医療について

Health center (大学内施設として)の有無：☒有 ☐無

留学中に病院で受診したことがありますか。健康管理、衛生面について特に注意すべきことを記入してください。

留学中に病院へ行ったことはありません。
水道水も飲める上、私が思っているほど危険な動物や昆虫が多く存在しているわけではなかったので、特に気を付けることはないと思います。

(4) 銀行口座について

留学先で口座を開きましたか。どのように準備・手続きをしましたか。

ウーロンゴン大学からの給付金があったため、NABの口座を開きました。手続きはオンラインですが可能で、ついてからはパスポートと必要な書類を持っていだけで開設することが可能です。

(5) 異文化体験について

留学先の文化や習慣の違い等について記入してください。

オーストラリアは様々な国の人が住んでいる国なので、様々な文化を体験することが出来ます。日本の大学生とオーストラリアの大学生の大きな違いの一つは、教授と生徒の距離だと思います。オーストラリアでは授業中に先生と生徒の会話が多く、日本みたいに一方的に教授が情報を発信している形の授業ではなかったです。なお、日本の学生のように授業中に寝ている生徒は一人もいないうえに、やる気

ボランティア等、課外活動を行いましたか。

バレエ部に所属していましたが、コロナウイルスによって活動が停止されました。
ウーロンゴン大学では140種類以上のサークルや部活動があるため、自分の好きな部活を選ぶことが出来ます。

留学先の安全性や外国人への態度等、留意していたことがあれば記入してください。

ウーロンゴンの治安はそこまで悪くはないものの、夜中の外出は極力控えること。そして街の中心でもちよとしたわき道に入れば治安が悪そうな場所も多くあるため、そこらへは行かないようにしていました。特に女性が男性に声をかけられることがしばしばあるので、女性は夜中に出かける際、友達とできるだけ出かけるようにしましょう。

3. 後輩へのアドバイスについて

(1) 現地で参考となった留学先国の情報 (HP や出版物等) を記入してください。

寮内ではテレビがないため、ニュースなどを見たい場合はインターネットで検索するしかありません。

(2) 日本から持参すると良いと思われるものを記入してください。

大抵のものはオーストラリアで安く手に入れることが出来ます。
日本のお菓子は現地の大学生が喜んでくれるため、ルームメイトへの配るようとして、持参することをお勧めします。
激シゲキックスが一番人気でした (レモン味)。

(3) 留学したことによって得られたことについて記入してください。

語学力：留学前－資格試験名称 TOEIC 985 点(級)
 留学後－資格試験名称 _____ 点(級)

現地へ到着したばかりの頃は、会話はスムーズにできるものの、冗談を理解することやSarcasmを理解することが出来ませんでした。しかし約半年の留学を終えて冗談を理解した上でそれを返したり、Sarcasmを使えるようになったため、よりネイティブにしかづいたのではないかと思います。

(4) 留学において最大のトラブルは何でしたか。

私が不便だと感じたものは。
 ・公共交通機関が日本ほど充実していないため、車で40分のところが電車で2時間かかったりすること。
 ・お酒を買う際、飲む際は絶対パスポートか運転免許証を持参してないといけないこと。他の身分証明書は使えない。

(5) 授業について：クラスの人数、成績評価、現地学生の取り組み方等

ウーロンゴン大学では一科目について主に三種類の授業があります。
 Lecture: 日本の授業のように大教室で教授が科目を教えて、生徒が一方的にそれを聞くタイプの授業。長さは2時間と日本より30分長いです。
 Tutorial: 担当の先生がLectureを復習する少人数型の授業。すべての課題や宿題はこの授業で出されて、この授業で評価されます。長さは1時間から2時間と科目によって異なります。
 Peer Assisted Study Session (PASS): その科目の単位を取得した先輩が授業の内容を一緒に復習してくれるタイプの授業。開始と出席は自由です。長さは10分程度です。

(6) 留学期間中に就職活動をしましたか。どのように活動したか教えてください。

プレエントリーや準備くらいはしました。

4. 費用について

留学費用の概算を円で記入してください。

- (1) 留学時のレート: AU1\$=75円
 (2) 航空運賃: 往復14万程
 (3) 住居費(月額): 58,760 × 留学期間月数 6 カ月 = 35万程
 (4) 食費(月額): 2万円ほど × 留学期間月数 6 カ月 = 12万程
 (5) 保険料: 1万ほど
 (6) その他: 雑費が半年で約10万程
 (7) 留学費用の合計: 最低57万円

5. その他 自由に記入してください。

学業は大変ではあるものの、教授や友達がサポートしてくれるので、困ったときは教授や学校に頼ってみましょう。
単位を取るためにはPASSは絶対に履修しておくべきです、授業を受けているだけでは合格することはできません。
食費を最低限にとどめておくには自炊することをお勧めします。オーストラリアの野菜や果物はとても安いです。
オーストラリアでのカードの決済方法として、日本のICOCAのように機会にタップするのが主流です。
しかし日本のクレジットカードはこれが出来ないため、現地で口座を開設することをおすすめします。